

7. 水源地域動態

7.1 水源地域の概況

7.1.1 水源地域の概要

布目ダムの水源地域は、平成16年まで奈良市、山添村、都祁村(ともに奈良県)の1市2村であった。しかし、平成17年4月1日の市町村合併により、奈良市に都祁村と月ヶ瀬村を加えた1市2村が合併し「奈良市」となった。これに伴い、現在の水源地域は「奈良市」「山添村」の1市1村となっている。

ここでは、対象市町村を旧水源地域である「旧奈良市」「山添村」「旧都祁村」とともに、流域市町村である天理市及び宇陀市(旧室生村)の一部を含み、整理する。ただし、合併後の「奈良市」のデータは、「旧都祁村」「旧月ヶ瀬村」を含むものとする。

(1) 流域の状況

布目ダムの流域は奈良県に位置する。図7.1.1-1に示すとおり、ダム堤体付近は奈良市(旧奈良市、旧月ヶ瀬村)、山添村、貯水池の多くは山添村である。また、流域には、天理市及び宇陀市(旧室生村)の一部を含んでいる。

流域市町村の面積及び流域面積を表7.1.1-1に示す。

表 7.1.1-1 布目ダム流域市町村の面積及び流域面積

	市町村 面積 (km ²)	布目ダム 流域面積 (km ²)	割合 (%)
旧奈良市	211.60	7.28	3.44
旧月ヶ瀬村	21.35	0.85	3.98
旧都祁村	43.89	36.33	82.79
山添村	66.56	13.27	19.94
天理市	86.37	16.97	19.65
旧室生村	107.99	0.29	0.27
合計	537.76	75.00	—

資料:国土交通省国土地理院「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」

※ 布目ダム流域面積はプランメータによる測定。

※ 旧奈良市、旧月ヶ瀬村、旧都祁村は、平成17年4月1日に「奈良市」として合併した。現奈良市の面積は276.84km²である。

※ 旧室生村は、平成18年1月1日に旧大字陀町、旧菟田野町、旧榛原町と合併し、「宇陀市」となった。現宇陀市の面積は247.62km²である。

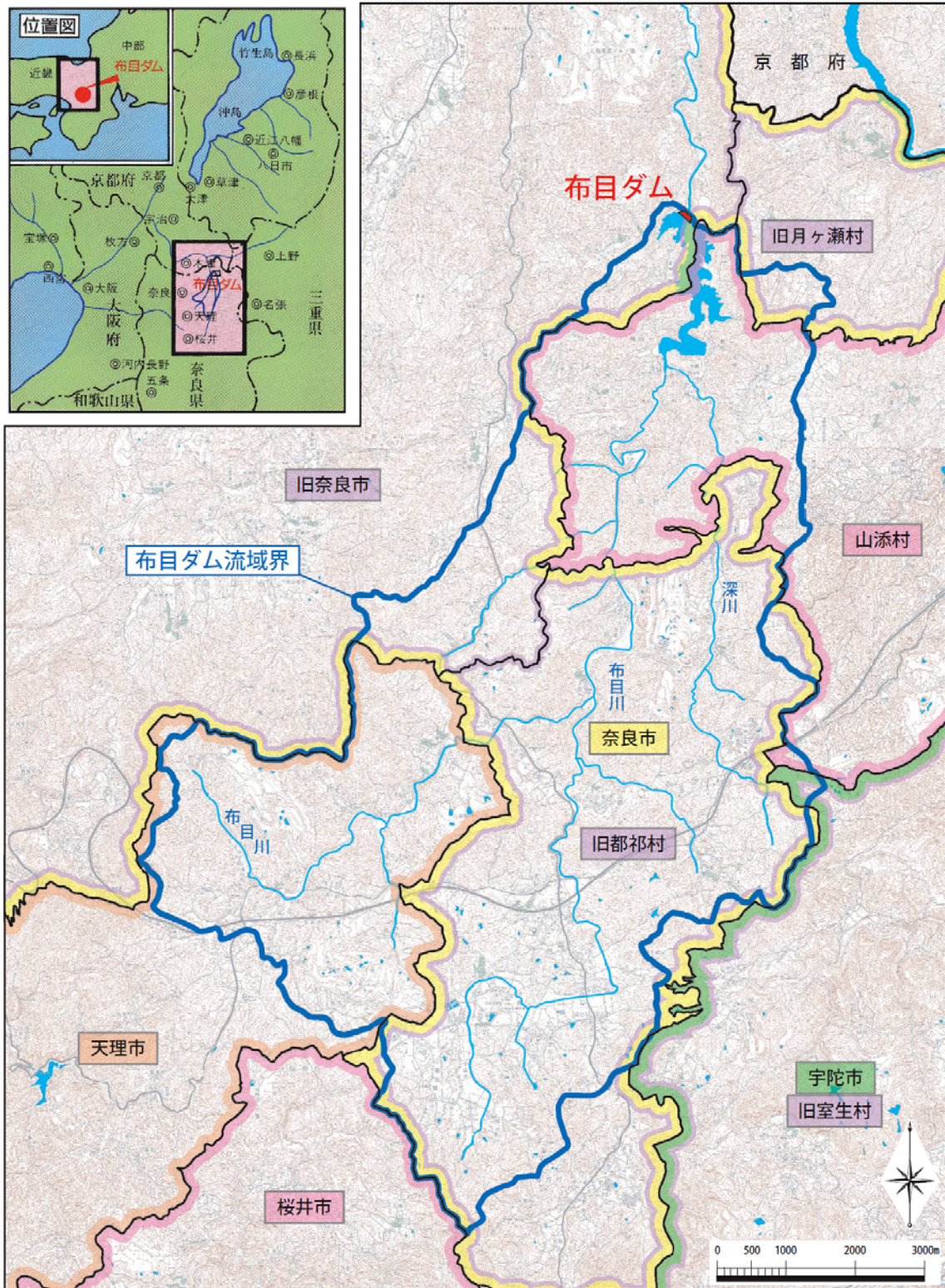


図 7.1.1-1 布目ダム流域市町村位置図

(2) 人口・世帯数の推移

布目ダム流域内における人口・世帯数推移を、表 7.1.1-2、図 7.1.1-2 に示す。

流域内では旧都祁村の人口・世帯数が最も多く、流域の約 65%程度を占めている。次いで、天理市、山添村、旧奈良市の順である。流域内人口でみると、S50～S55 の間、H2～H7 の間に増加傾向が認められるものの、他は概ね減少傾向を示している。

なお、旧月ヶ瀬村及び旧室生村においては、流域内に居住者はいない。

表 7.1.1-2 布目ダム流域内人口・世帯数推移 (S50～H17)

人口(人)	昭和 50 年	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
旧奈良市	472	457	464	424	454	414	435
旧都祁村	4,737	5,191	4,981	5,120	5,567	5,493	5,195
山添村	1,019	1,001	938	845	818	720	700
天理市	905	1,998	1,841	1,851	1,787	1,674	1,560
合計	7,133	8,647	8,224	8,240	8,626	8,301	7,890

世帯数(世帯)	昭和 50 年	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
旧奈良市	110	108	111	98	100	100	97
旧都祁村	1,029	1,156	1,147	1,195	1,434	1,450	1,419
山添村	220	219	217	205	200	190	194
天理市	195	410	417	409	419	412	393
合計	1,554	1,893	1,892	1,907	2,153	2,152	2,103

※ 各年の国勢調査結果（小地域集計結果）による。

※ 布目ダム流域内の小地域（町丁・字）は以下のとおりである。なお、H17 には旧都祁村は奈良市に合併しているが、旧地域別で整理した。

- ・旧奈良市：丹生町、北野山町、柚ノ川町
- ・旧都祁村：大字南之庄、大字甲岡、大字来迎寺、大字友田、大字藺生、大字小山戸、大字相河、大字白石、大字針、大字針ヶ別所、大字小倉、大字上深川、大字下深川、大字荻、大字馬場
- 〔奈良市合併後：都祁南之庄町、都祁甲岡町、来迎寺町、都祁友田町、藺生町、都祁小山戸町、都祁相河町、都祁白石町、針町、針ヶ別所町、小倉町、上深川町、下深川町、荻町、都祁馬場町〕
- ・山添村：大字室津、大字松尾、大字的野、大字峰寺、大字桐山、大字北野
- ・天理市：福住町、山田町

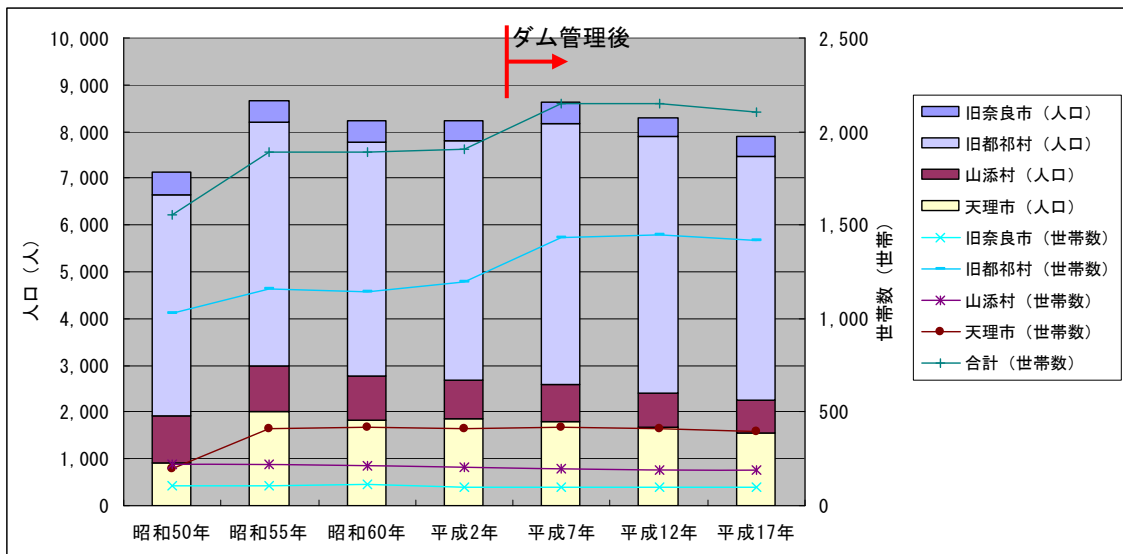


図 7.1.1-2 布目ダム流域内人口・世帯数推移 (S50～H17)

(3) 就業者数

布目ダム流域内における就業者数推移を、表 7.1.1-3、図 7.1.1-3 に示す。全体としては、第 2 次・第 3 次産業に従事する就業者の割合が多いが、山添村は茶業を主体とした農業地域であり、第 1 次産業就業者が多くなっている。

なお、旧月ヶ瀬村及び旧室生村においては、流域内に居住者はいない。

表 7.1.1-3 布目ダム流域内における就業者数推移 (H12~H17) (単位：人)

		平成 12 年	平成 17 年
旧奈良市	第一次産業	58	50
	第二次産業	94	89
	第三次産業	96	91
	その他(分類不能)	5	3
旧都祁村	第一次産業	348	336
	第二次産業	902	850
	第三次産業	1,392	1,386
	その他(分類不能)	30	10
山添村	第一次産業	89	105
	第二次産業	40	63
	第三次産業	208	210
	その他(分類不能)	14	1
天理市	第一次産業	148	157
	第二次産業	207	161
	第三次産業	451	384
	その他(分類不能)	3	1
合計	第一次産業	643	648
	第二次産業	1,243	1,163
	第三次産業	2,147	2,071
	その他(分類不能)	52	15

- 注) 1. 各年の国勢調査結果(小地域集計結果)による。
 2. H7 以前については小地域(町丁・字)での集計結果は公表されていない。
 3. 布目ダム流域内の小地域(町丁・字)は以下のとおりである。なお、H17 には旧都祁村は奈良市に合併しているが、旧地域別で整理した。
- ・旧奈良市：丹生町、北野山町、柚ノ川町
 - ・旧都祁村：大字南之庄、大字甲岡、大字来迎寺、大字友田、大字藺生、大字小山戸、大字相河、大字白石、大字針、大字針ヶ別所、大字小倉、大字上深川、大字下深川、大字荻、大字馬場
 - 〔奈良市合併後：都祁南之庄町、都祁甲岡町、来迎寺町、都祁友田町、藺生町、都祁小山戸町、都祁相河町、都祁白石町、針町、針ヶ別所町、小倉町、上深川町、下深川町、荻町、都祁馬場町〕
 - ・山添村：大字室津、大字松尾、大字的野、大字峰寺、大字桐山、大字北野
 - ・天理市：福住町、山田町

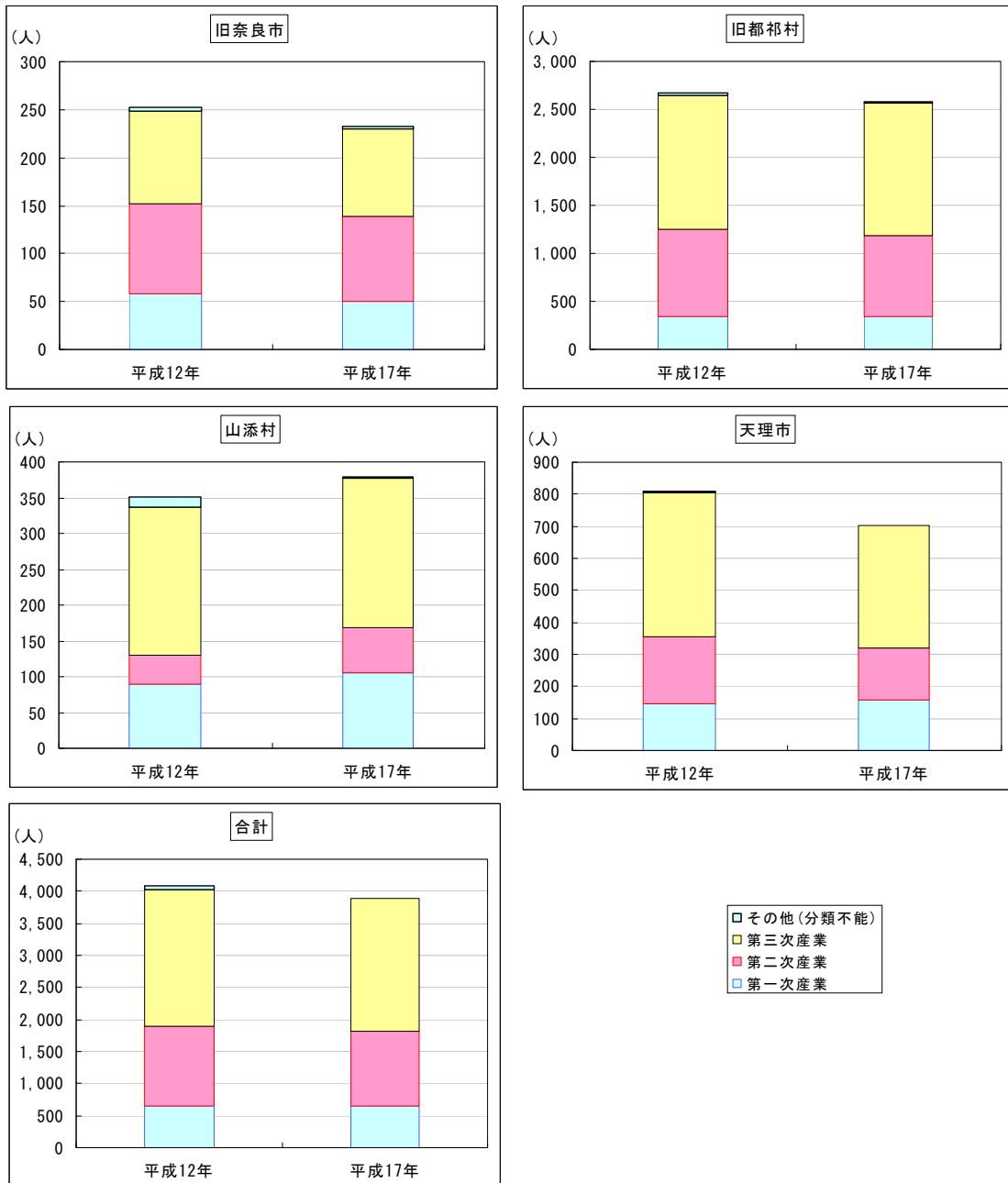


図 7.1.1-3 布目ダム流域内における就業者数推移 (H12~H17)

- 注) 1. 各年の国勢調査結果 (小地域集計結果) による。
 2. H7 以前については小地域 (町丁・字) での集計結果は公表されていない。
 3. 布目ダム流域内の小地域 (町丁・字) は以下のとおりである。なお、H17 には旧都祁村は奈良市に合併しているが、旧地域別で整理した。
- ・旧奈良市：丹生町、北野山町、柚ノ川町
 - ・旧都祁村：大字南之庄、大字甲岡、大字来迎寺、大字友田、大字蘭生、大字小山戸、大字相河、大字白石、大字針、大字針ヶ別所、大字小倉、大字上深川、大字下深川、大字萩、大字馬場
 - 〔奈良市合併後：都祁南之庄町、都祁甲岡町、来迎寺町、都祁友田町、蘭生町、都祁小山戸町、都祁相河町、都祁白石町、針町、針ヶ別所町、小倉町、上深川町、下深川町、萩町、都祁馬場町〕
 - ・山添村：大字室津、大字松尾、大字的野、大字峰寺、大字桐山、大字北野
 - ・天理市：福住町、山田町

(4) 土地利用と産業

布目ダム流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況を表7.1.1-4、図7.1.1-4に示す。
また、流域内における土地利用状況を、図7.1.1-5、表7.1.1-5に示す。

布目ダム周辺一帯は、400m前後の山が連なる大和高原地帯である。この地域ではなかなか山の斜面を利用して、お茶の栽培が盛んに行われている。

流域には、林野や田、茶畑が広がっている。また、複数のゴルフ場も営業しており、面積としては、田に次ぐ広さである。

表 7.1.1-4 布目ダム流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況

市町村名	旧市町村名	総面積 (ha)	宅地 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	林野 (ha)	その他 (ha)					自然公園	
									ゴルフ場 (ha)	最終処分場 (ha)	都市公園 (ha)	その他 (ha)	国定公園 (ha)	県立公園 (ha)
奈良市	奈良市	21160	2956	1450	109	192	9699	6754	730.1	0	197.1	5826.8	1980	48
	月ヶ瀬村	2135	52	61	18	249	1126	629	116.4	0	0	512.6	0	181
	都祁村	4398	161	413	37	46	2571	1170	199.7	0	0	970.3	98	2
天理市	天理市	8637	710	1222	64	122	3380	3139	153.5	0	36.3	2949.2	1046	0
山添村	山添村	6647	95	243	57	211	4134	1907	76.7	0	0	1830.3	0	127
宇陀市	室生村	10799	90	202	40	31	8702	1734	137.3	8.4	0	1588.3	2489	0

※「平成17年度 木津川ダム流域情報調査報告書、平成18年3月、木津川ダム総合管理所」より引用。
※元出典は以下のとおりである。

- ・宅地：平成16年度市町村税制の概要(評価総地積)
- ・田・畑・樹園地・林野：2000年世界農林業センサス
- ・ゴルフ場：平成17年度土地利用動向調査
平成16年度奈良県統計年鑑
- ・都市公園等：平成15年度奈良県市町村要覧(平成14年度公共施設状況調査)
- ・自然公園：奈良県生活環境部風致保全課自然環境係(自然公園等区域図)
平成15年度奈良県林業統計(平成17年1月発行)
- ・最終処分場：奈良県産業廃棄物生活環境部廃棄物対策課より聞き取り

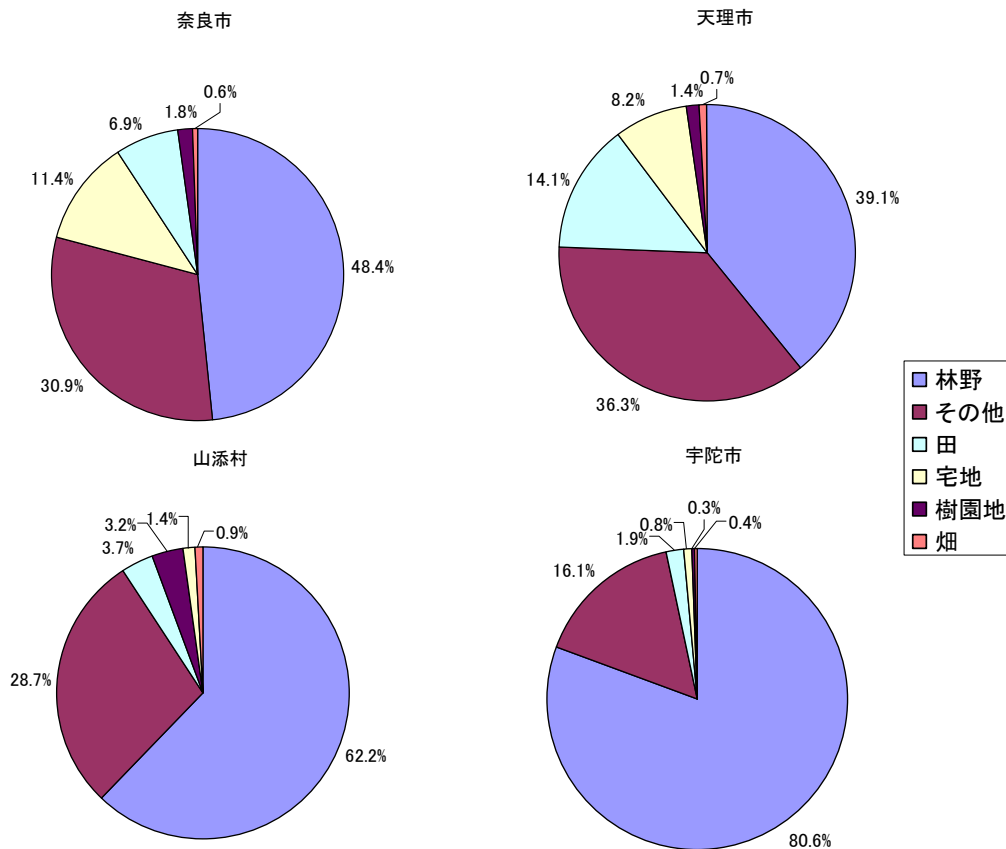
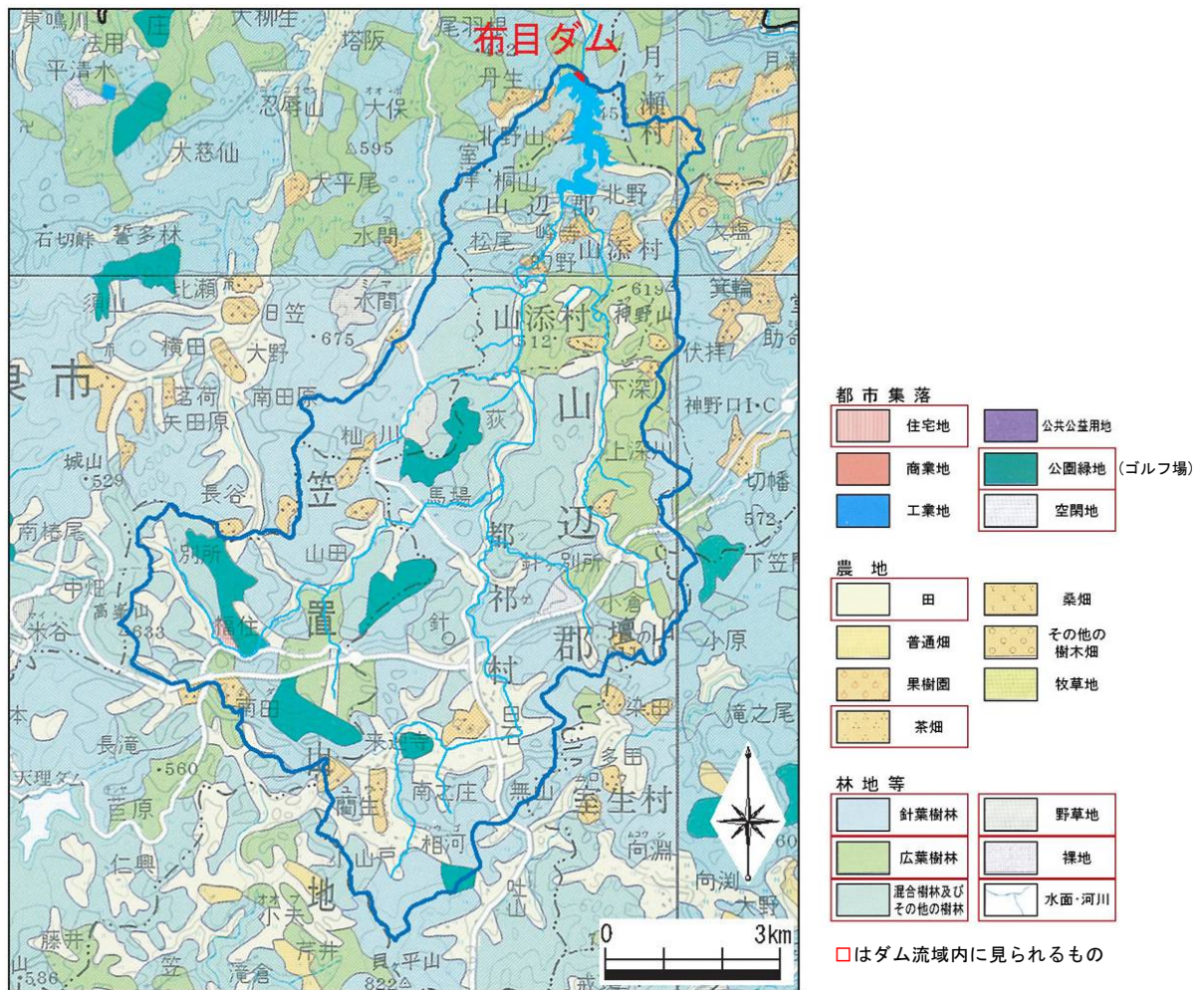


図 7.1.1-4 布目ダム流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況



※土地利用図(1:200,000) (「京都及大阪」「伊勢」「和歌山」「名古屋」、昭和 58 年編集、昭和 60 年発行、国土地理院)に加筆。

図 7.1.1-5 昭和 58 年布目ダム流域の土地利用状況

表 7.1.1-5 昭和 58 年布目ダム流域内の土地利用状況

土地利用	面積(km ²)	割合(%)
針葉樹林	26.6	35.5
田	13.2	17.6
混交樹林	13.1	17.5
広葉樹林	10.1	13.5
公園緑地(ゴルフ場)	5.7	7.6
空地	3.3	4.4
河川・ダム湖	1.3	1.7
茶畑	1.0	1.3
野草地	0.3	0.4
裸地	0.3	0.4
住宅地	0.1	0.1
合計	75.0	100%

※土地利用図(1:200,000) (「京都及大阪」「伊勢」「和歌山」「名古屋」、昭和 58 年編集、昭和 60 年発行、国土地理院)において、プランイメータで面積を算出した。

7.1.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

布目ダムの南側約10kmには、広域幹線である名阪国道及び国道25号が東西方向に通っており、大阪都市圏及び名古屋都市圏からはそれぞれ約1時間半で到達することができる。また布目ダム堤体の下流約7kmには木津川に沿って、大阪市と三重県津市を結ぶ国道163号が東西方向に位置しており、京都市笠置町と山添村を結ぶ県道笠置・山添線が交差する。

ダム貯水池の左岸には県道月ヶ瀬・針線、右岸は村道津越・牛ヶ峰線が位置しており、周遊することができる。ダム湖最上流部には、県道奈良・名張線が東西に通っており、東側で名阪国道及び国道25号と交差する。



図7.1.2-1 周辺都市からの交通網

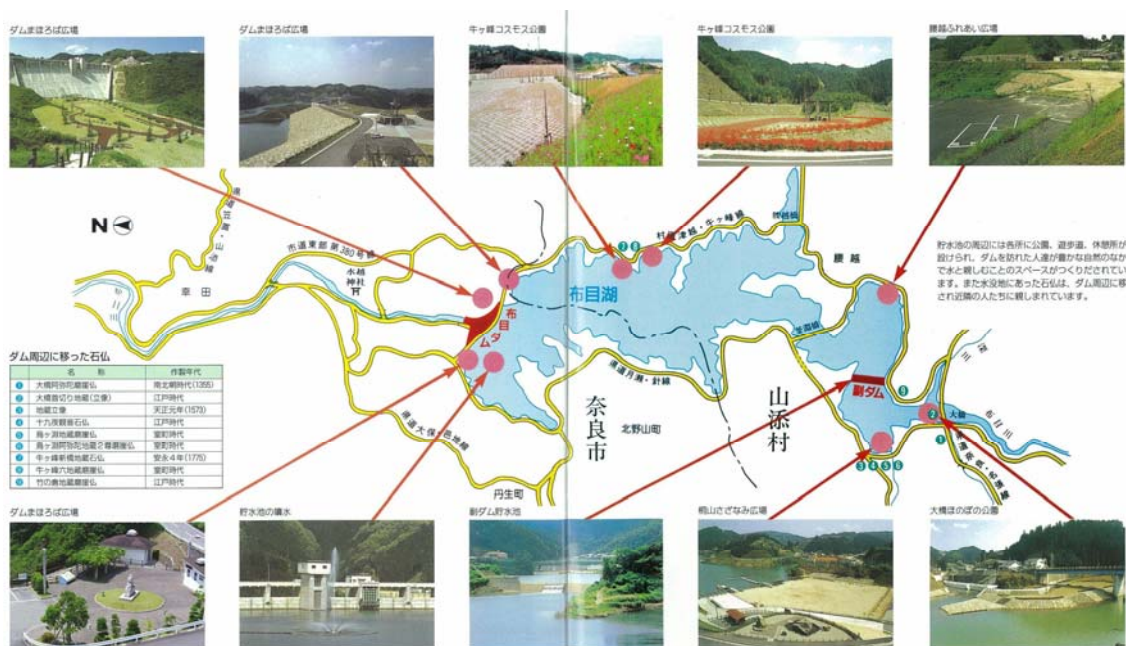
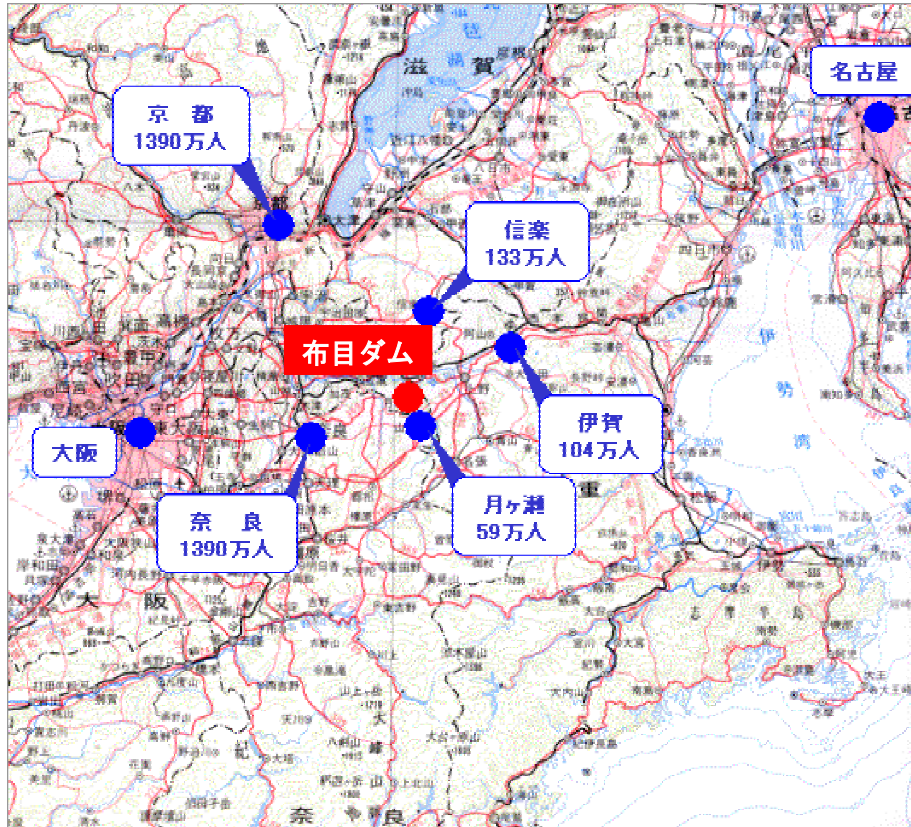


図7.1.2-2 布目ダム周辺の交通網

(2) ダム周辺の観光施設等

布目ダム周辺は奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園に指定された地域であり、湖水と緑豊かな四季折々の自然景観の変化が楽しめる地域である。

また、周辺には、いずみ路や伊賀上野、信楽の里、柳生の里などの観光地が多く、大阪、京都、奈良及び名古屋などを結ぶ広域交通網も整備されていることから、多くの人々がダム湖を訪れている。



※ 数字は入込客数 (H14 年度全国観光動向より)

図 7.1.2-3 ダム周辺の観光入込み数

布目ダム周辺の観光施設等を図 7.1.2-4 に示す。

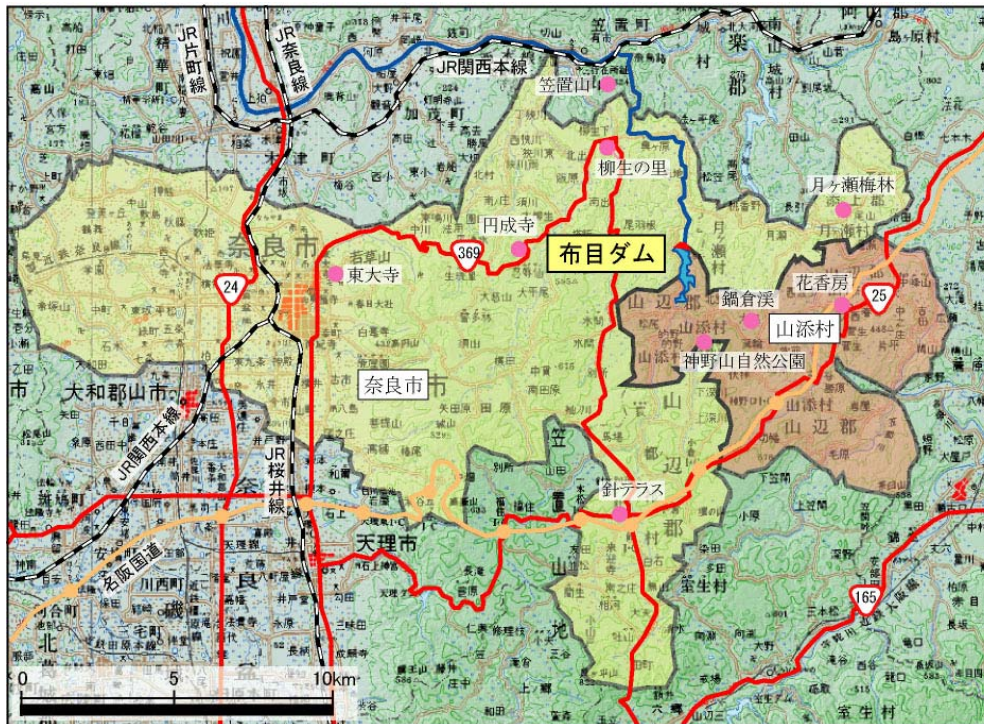


図 7.1.2-4 布目ダム周辺の観光施設

表 7.1.2-1 布目ダム周辺の観光施設

名称	概要	所在地
柳生の里 柳生藩家老屋敷	柳生一万石の領主として有名な柳生の里。また剣豪”柳生一族”のふるさと。家老屋敷や芳徳寺、十兵衛杉、陣屋跡など柳生一族ゆかりの史跡が豊富です。	奈良県 奈良市 柳生町
円成寺の名勝庭園	庭園の美しい円成寺。平安時代の草創といわれる名利。庭園は平安時代の数少ない遺構。柳生街道随一の名刹で、見事な楼門、浄土式庭園などの寺宝が残っています。	奈良県 奈良市 忍辱山
大和茶	大和高原の中央部に位置する布目ダム周辺は、古くから大和茶の栽培が盛んで、新緑の季節には美しい茶畑の風景が見られます。	-
花香房	花香房は、「花と香りとふれあい」をテーマにした施設です。産直センターでは、四季折々の花苗をはじめとして、ハーブや山添村の自然食品とそれらの加工品を販売しています。	奈良県 山添村
県立 月ヶ瀬 神野山自然公園 月ヶ瀬梅林	昭和 50 年に指定された奈良県立自然公園。月ヶ瀬梅林と神野山のツツジ等を中心にした公園。	奈良県 奈良市 月ヶ瀬
鍋倉溪	県立自然公園神野山の山腹にあり、大小の黒々とした岩が、幅 10m、長さ 650m にわたりまるで溶岩が流れ出したような景観を造り出している。この渓谷は、奈良県の天然記念物に指定されており、また伏流水は鍋倉溪湧水として、大和の名水に選ばれている。	奈良県 山添村
笠置山と 磨崖菩薩像	京都府立笠置山自然公園は笠置山上に 1,300 年の歴史のある笠置寺と後醍醐天皇の行在所跡があり、戦前より観光地として名高い場所。笠置寺境内にはかつて一大修験行場として栄え、今日では行場めぐりとして名をとどめる周回コースがある。	京都府 笠置町
道の駅・針テラス	名阪国道と国道 369 号線が交差する針インターに日本で最初の PFI 事業による道の駅 針テラスが完成。針テラスは、建物全体を南イタリア風のデザインとし、500 台収容可能な駐車場、飲食味街道、温泉、都祁の郷で産まれた生鮮品・加工品の販売、西日本最大級の観光イチョゴ園など、日本一の規模を誇る道の駅。	奈良県 奈良市 針町

(参考:山添村 HP、笠置町商工会 HP、道の駅針テラス HP)



柳生の里(柳生町)



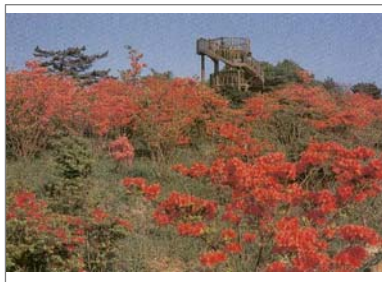
円成寺の名勝庭園(奈良市)



大和茶



花香房(山添村)



神野山自然公園(山添村)



鍋倉溪(山添村)



月ヶ瀬梅林(奈良市)



柳生藩家老屋敷(柳生町)



笠置山と磨崖菩薩像(笠置町)



針テラス(奈良市)

図 7.1.2-5 ダム周辺の観光資源

7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷

布目ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を年表にて整理する。

表 7.2-1 ダム事業と地域社会の変化(年表)のイメージ

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市	山添村	都祁村
M22				
M31		奈良市誕生		
S9		室戸台風が襲来、各地で大被害		
S30				都祁村誕生
S31			山添村誕生	
S34		阪奈道路が開通	伊勢湾台風により大きな被害を受ける	新庁舎落成 伊勢湾台風襲来
S36		第2室戸台風が襲来	役場庁舎完成	第2室戸台風襲来
S37	淀川水系が水資源開発水系に指定			
S38			山添分校校舎完成	
S40		台風24号が襲来		
S40		名阪国道開通	名阪国道開通	名阪国道開通
S41				
S43				
S44		市の人口20万人を突破		
S46	淀川水系工事実施基本計画改訂		山辺広域市町村圏指定	
S47			山辺広域圏事業による	
S48			ゴミ収集回収	
S49			山辺広域消防組合山添署業務開始	
S50		市の人口25万人を突破		
S51	水資源開発基本計画の決定			
S54	事業実施方針の指示		自然休養村管理センター完成	
S54	布目ダム建設所開設			
S55	事業実施計画の認可			
S56		市の人口30万人を突破		
S57		台風10号襲来	山添村ふるさとセンター	台風10号襲来
S58	付替道路着手 (月ヶ瀬～針線その2)		総合スポーツセンター完成	
S58	柳生地区補償基準妥結			
S58	山添地区補償基準妥結			
S59		水道局庁舎完成		
S60			基幹集落センター完成	
S61	ダム本体工事に着手			
S62	コンクリート打設開始		山添中学校開校	
S63			し尿処理センター稼働	
H1	本体コンクリート打設完了			
H2	試験湛水開始			
H3	試験湛水終了		第1回やまぞえ布目ダムマラソン大会開催	
H3	布目ダム竣功式			
H4	布目ダム管理業務開始			第1回「つげ祭」開催
H5			歴史・民俗資料館開館	
H7		阪神・淡路大震災発生		
H8			「茶の里映山紅」	
H9		第二阪奈道路開通		
H10		台風7号直撃		
H13				
H14			やまぞえ小学校開校	
H15		東部地域等水道整備事業が竣工		
H16		奈良市・月ヶ瀬村・都祁村合併協定調印式		
H17		奈良市・月ヶ瀬村・都祁村合併(合併記念式典開催)		

(出典:奈良市HP、都祁村勢要覧P11、山添村勢要覧P28)

布目ダムによる水没地域は、奈良県奈良市及び山辺郡山添村の1市1村にまたがり、水没地の約6割は山添村地域である。

ダムによる直接的な影響として、補償に関する事項を整理した。主な補償は、一般補償として買収面積約137ha、移転戸数48戸、30世帯があり、公共補償は、付替道路、公共建物6戸、水泳プール1ヶ所、その他消防施設、また特殊補償として、漁業権2件、鉱業権1件があった。

表 7.2-2 布目ダムによる直接的な影響

一般補償	土地		13,766a
		田	2,263a
		畑	1,409a
		山林	9,590a
		宅地	409a
		基地その他	95a
	立竹木		1 式
建物工作物	住家		7,200m ²
	非住家		1 式
	工作物等		1 式
公共補償	付替道路(県道2路線、市町道11路線)		
	公共建物		6 戸
	水泳プール		1 ヶ所
	その他消防施設		
特殊補償	漁業権		2 件
	鉱業件		1 件

表 7.2-3 公共補償内容

管理者	施設名称	摘要
山添村長	山添村生活改善センター 東山駐在所 山辺広域消防水槽 水泳プール	代替宅地造成地内 山添村立東山中学内 (25m×6 コース)
腰越組頭	腰越集会所	
桐山組長	桐山公民館分館	
山添村消防団長	山辺広域消防車	山添村峰寺地区 山添村桐山地区 山添村北野地区
奈良東山農業協同組合長	奈良東山農業協同組合	
奈良東山郵便局長	奈良東山郵便局	

表 7.2-4 水没者の状況(奈良県山辺郡山添村地内)

地区名		牛ヶ峰	腰越	津越	峰寺	大君	和田	合計
内 訳	戸数	7	5 (3)	3 (1)	17 (11)	7 (3)	9 (6)	48 (24)
	世帯数	6	4	1	7	4	8	30

7.3 地域とダム管理者の関わり

7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

布目ダムは布目川・木津川・淀川の「洪水調節」、奈良市及び山添村を潤す「新規利水」、および「流水の正常な機能の維持」の3つの目的をもつ多目的ダムである。

一方、近年においてはこのような従来の目的に加え、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることが求められている。

このため、地域ごとにダム水源地の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとし、布目ダムでは地元住民や関係機関等が共同して「布目ダム水源地域ビジョン」を検討、平成14年3月に策定した。

「布目ダム水源地域ビジョン」は、

“ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”

として、ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

なお、対象範囲は布目ダムとの係わりが強い下記の区域とした。

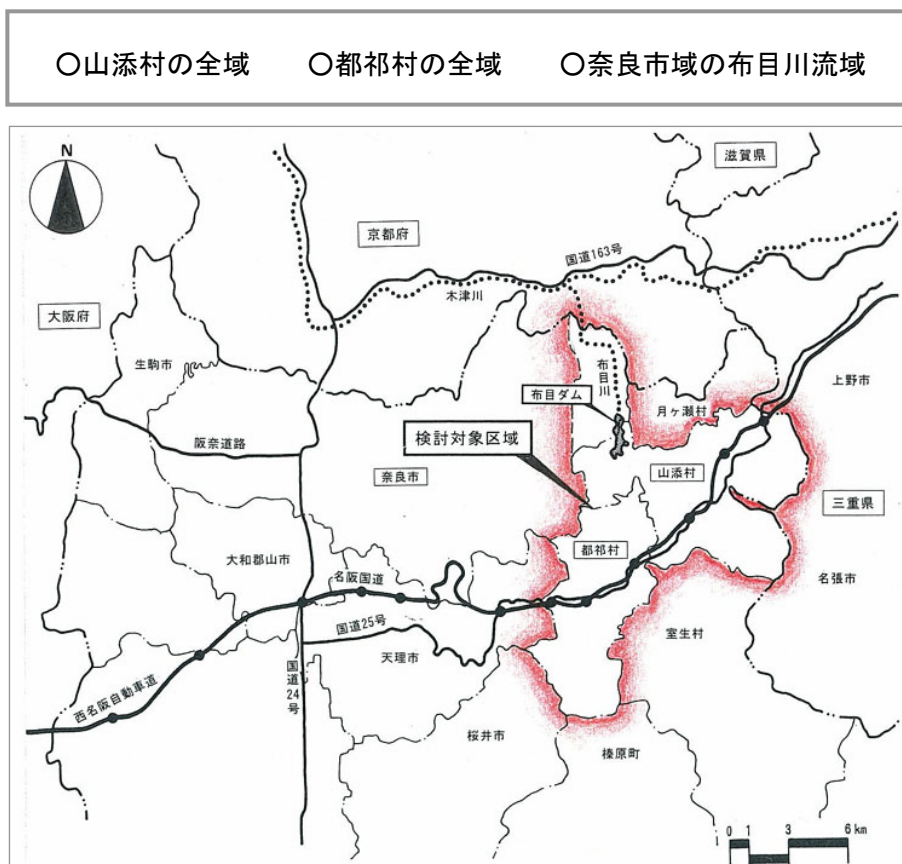


図 7.3.1-1 布目ダム水源地域ビジョンの対象範囲

布目ダム水源地域ビジョンでは、地域活性化に向けた基本的な考え方や基本方針から布目ダム水源地域全体の目標像の実現に向けて布目ダムが担うべき役割を検討・整理し、以下の4点に集約した。

これらより、布目ダム・ダム湖を活用した地域活性化方策である水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容を策定した。

■活性化に向けた地域全体の目標像

多彩なネットワークで結ばれる魅力豊かな地域資源を拠点に、
地域住民が生き活きと活動する水源地域の形成

- ・魅力度の高い様々な地域資源が立地する水源地域
- ・多彩な地域ネットワークが形成される水源地域
- ・水を軸に地域住民の積極的な活動が行われる水源地域

■布目ダムの位置づけや狙うべき役割

1. 湖面を活用した地域のレクリエーション空間

布目ダムが有する湖面利用に適した水面や、質の高い既存施設等を積極的に活用し、地域における湖面利用が図れる快適なレクリエーション空間としての役割を担うことが求められる。

2. 水資源に関する学習の場

地域の水がめとしての役割をもつ布目ダムは、水資源に関する学習の場に適しており、ダム堤体や貯水池周辺のダム管理施設等を活用することで水資源に関する学習拠点としての高いポテンシャルを有している。

3. 地域活動の場

現在の布目ダム周辺では、様々なイベントや地元住民による活動等が行われている。今後はそれらの活動や取り組みを継続し、さらに活性化させる地域活動の場としての役割を担うことが求められる。

4. 清らかな水質を有する水源地

広い範囲に上水道用水を供給する布目ダムにおいては、将来にわたってその機能を保持するために、また、上記の機能を高めるために、清らかな水質の保全や改善を行う場としての役割を担うことが求められる。



図 7.3.1-2 布目ダム水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容

7.3.2 布目ダム水源地域ビジョン

(1) 布目ダム水源地域ビジョンの概要

布目ダムでは、平成14年3月に「布目ダム水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の市町村と一体となった活性化の取り組み方針がまとめられた。

布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「布目ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行った。なお、同組織は規約等を設けない緩やかな組織である。

- ・学識経験者
- ・水源地域及び下流自治体…………… 奈良市、山添村、都祁村
- ・ダム管理者等…………… 水資源開発公団（水資源機構）
- ・関係行政機関…………… 国土交通省、奈良県
- ・周辺住民…………… 布目ダム周辺地域開発協会

また、具体の検討作業は、下部組織である「布目ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。各々の構成メンバーは以下のとおりである。

表 7.3.2-1 布目ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバー

構成機関	策定会議	策定連絡会
学識経験者	大学教授	大学教授
周辺住民		
布目ダム周辺地域開発協会	理事長	理事長
水源地域及び下流自治体		
山添村	村長	企画財政課長
都祁村	村長	企画課長
奈良市	企画部長	企画部企画課長
ダム管理者		
水資源開発公団 （水資源機構）	関西支社長 木津川ダム総合管理所長	関西支社管理部審議役 木津川ダム総合管理所管理課長 布目ダム管理所長
関係行政機関		
国土交通省 近畿地方整備局	河川部河川管理課長 木津川上流工事事務所長 淀川ダム統合管理事務所長	
奈良県	企画部開発調整課 水資源対策室長	企画部開発調整課 水資源対策室主幹

(平成14年3月時点)

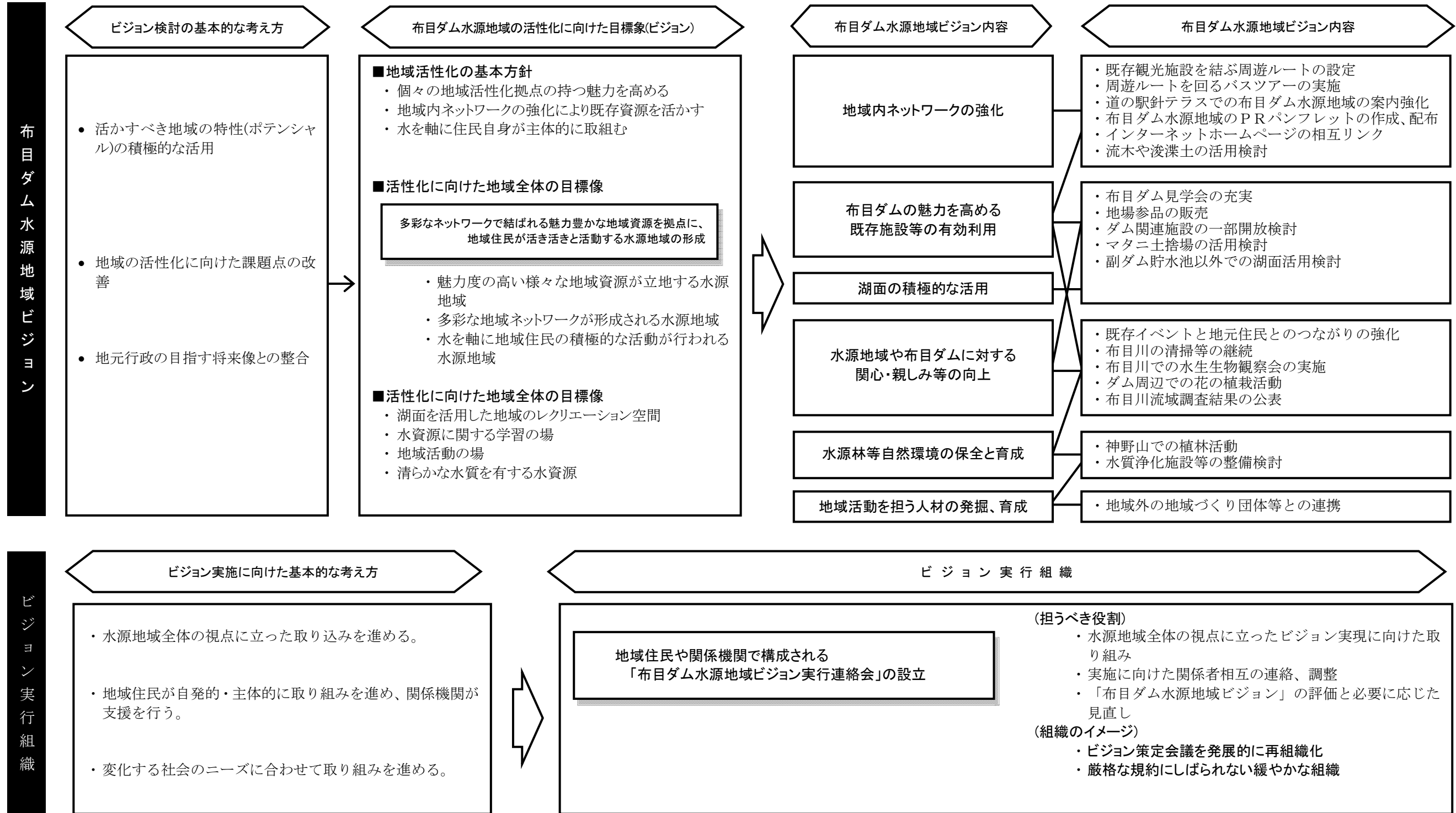
布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、平成13年10月17日に第1回連絡会を開催し、水源地域ビジョンの構成案の検討及び地元自治体の意向確認を行なった。その後、2回の連絡会(12月26日,平成14年1月31日)を経て、平成14年3月5日の策定会議において各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、「布目ダム水源地域ビジョン」の策定を行った。また、平成14年7月には「布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会」を発足し、これまでダム湖周辺の清掃活動、植栽活動及び水中生物観察会を実施するなど、関係機関の支援のもと、地域住民が自発的・主体的に取り組みを進めている。

表 7.3.2-2 「布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会」メンバー

構成機関	担当	備考
布目ダム周辺地域開発協会	理事長他	
山添村	地域振興課	
奈良市	企画部企画政策課 都祁行政センター業務課	
奈良県	企画部資源調整課水資源計画係	オブザーバー
国土交通省近畿地方整備局	木津川上流河川事務所調査課 淀川ダム統合管理事務所広域水管理課	オブザーバー
独立行政法人水資源機構	関西支社総務部利水者サービス課 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	

《布目ダム水源地域ビジョン》

布目ダム水源地域ビジョンのまとめ



(2) 策定した活性化施策の内容と実施状況

布目ダムおよび周辺では、ダム管理者をはじめ、地元住民、地元自治体等の様々な団体が主体となり、布目ダム水源地域ビジョンの活性化施策を実施している。

表 7.3.2-2 活性化施策内容と実施状況

活性化施策名	施策の内容	実施状況		
		実施状況	事業主体	実施内容
ダム周遊ルートを回るバスツアー	公募により山添村観光地及びダム周辺を観光するツアーを実施	H14.5.26	山添村	特に奈良市民を対象に500名規模バス7台において山添村内の観光地をめぐり特産品の販売も行う
インターネットホームページの相互リンク	ダム水源地域に関連する自治体やダム事業者のホームページを相互にリンクさせる	H16より継続	各自治体(奈良市、山添村)水資源機構	周辺観光図の中にリンクサイトを作成する
流木や浚渫土の活用検討	布目ダムで発生する流木や浚渫土を地元自治体で農業や園芸その他産業に活用するための検討を行う	H15	水資源機構	流木のたい肥化や炭化による配布について検討
		H16	水資源機構	刈草・剪定木を炭化し、山添村祭にて配布
		H16より継続	水資源機構	浚渫土砂の分析公表及び下流河川への還元実験実施
ダム見学会の充実	奈良市小学生だけでなく山添村、都祁村の小学生も対象とした見学会の開催を検討する	約30回/年	水資源機構	小学校からの見学申込みには随時対応する
		H16より継続	水資源機構	森と湖の旬間には随時一般の方の案内も行う
ダム関連施設の一部開放	流木処理のための焼却設備が、法律で使用できなくなったため、安全性の確保を前提に、条件付きでのダム関連施設の開放に関する検討を行う	H16より継続	水資源機構	流木処理場を桜広場・駐車場・安全施設(柵等)として整備し、開放している 釣り等の目的で、連日多くの方に利用していただいている
地場特産品の販売	ダム広場において地元で採れる特産品の販売を行う	土日継続活動	山添村	ダム周辺の農家で採れる野菜や花などを販売 都市住民との交流活動として継続する
既存イベントと地元住民とのつながり強化	地元住民とのつながりが薄いツアーオブジャパンなどのイベントで地元住民も参加しやすいような企画内容を追加する	H16より継続	奈良市、山添村(水機構協力)	5月サイクルフェスタ・ツアーオブジャパン協賛 9月布目ダム釣り大会実施 12月布目ダムマラソン大会実施
布目川の清掃等の継続	「布目川を美しくする会」を中心に行われている布目川の清掃活動等を継続して開催し、環境美化と地元住民の意識の啓発を図る	6,8,11月 H14より継続活動	奈良市、布目ダム周辺地域開発協会(水機構協力)	8月「布目川を美しくする会」による河川清掃活動実施 6,11月 布目ダムクリーンキャンペーン清掃活動
布目川での水生生物観察会の実施	「布目川を美しくする会」を中心に企画されている布目川での水生生物観察会を実施し、地元住民の意識の啓発を図る。また、将来的には上下流交流のイベントとことも検討する	H14より継続活動	奈良市	7月「布目川を美しくする会」による水中生物観察会の実施 12月「布目川を美しくする会」による水に関する書き初め大会の実施
ダム周辺での花の植栽活動	山添村の施設(山添村香房)を活用し、地元住民の協力によってダム周辺の園地や道路沿いなどに花の植栽を行う	H16より継続	山添村	「花の会」による植栽活動の実施
布目川流域調査結果の公表	「布目・白砂川水質協議会」での布目川の流域調査結果を公表し、地元住民の意識の啓発や、水質対策などを進める上での基礎資料としての活用を図る	H15より継続	奈良市	・布目・白砂川の水質データを公表 ・流域内の河川パトロール実施(年4回) ・流域ゴルフ場への農薬・肥料の適正使用要請活動

※着色項目は、ダム管理者(独立行政法人水資源機構布目ダム管理所)が主体となっている活動

(3) イベントにおけるダム管理者の役割

奈良市の小学校教科書（社会科）に水道に関する項目があり、布目ダムも載っていることから、毎年奈良市内の小学校から施設の見学に訪れている。ダム管理者として、小学生にもわかりやすい施設説明や、ダム内部を体験してもらうなどの活動を行っている。

また、記念写真をカレンダーにしたり、スナップ写真をCDに収録したり、ダムへの来訪記念として渡している。

見学者数は、平成4年度から7年度頃までダム完成直後のため多く、平成8年度以降も毎年約2～3千人が訪れている。また、毎年20校以上の小学生が訪れ、多くの小学生に社会勉強の場として利用されている。



図 7.3.2-2 小学4年生の社会科教科書

表 7.3.2-3 施設見学者数(平成4～18年度)

年度	小学校		その他		合計	
	校数	人数	団体数	人数	団体数	人数
H4	22	2,319	59	1,512	81	3,831
H5	21	2,230	68	1,220	89	3,450
H6	24	2,407	58	1,047	82	3,454
H7	26	2,768	17	566	43	3,334
H8	25	2,463	7	203	32	2,666
H9	25	2,649	4	165	29	2,814
H10	25	2,307	24	704	49	3,011
H11	28	2,388	17	392	45	2,780
H12	28	2,463	18	397	46	2,860
H13	25	2,276	12	280	37	2,556
H14	22	1,832	6	166	28	1,998
H15	20	1,768	9	155	29	1,923
H16	27	2,285	11	383	38	2,668
H17	22	1,950	13	312	35	2,262
H18	22	1,926	12	427	34	2,353

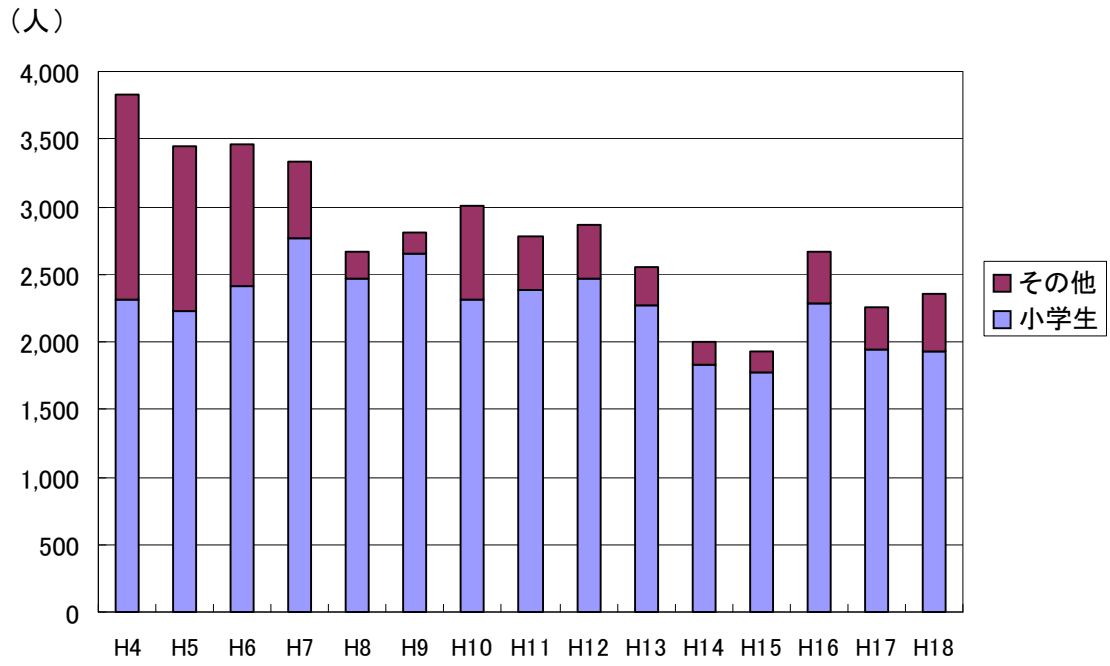


図 7.3.2-3 施設見学者数(平成4~18年度)

7.4 ダム周辺の状況

7.4.1 ダム周辺環境整備事業の状況

(1) ダム周辺環境整備

布目ダムが建設された大和高原北部地域は、神野山や月ヶ瀬梅林に代表されるように、高原地形の眺望、梅林、水と緑のオープンスペース等、自然的景観に依存した観光レクリエーション圏域を形成している。交通網は、幹線道路網が周辺にあり、奈良や大阪、京都などの都市から、道路時間距離では40分～90分の位置にあり、立地条件的には大都市圏の日帰りレクリエーション圏内にあるといえることができるものの、入れ込み客数はそれほど多くはない。

布目ダムの周辺環境整備は、周辺観光レクリエーション地域と関連させた整備計画は、位置関係、距離等から考えて難しく、ダム周辺を周遊するパターンを基本として、ドライブ、サイクリング等による立ち寄りにも対応できる要素を取り入れた。

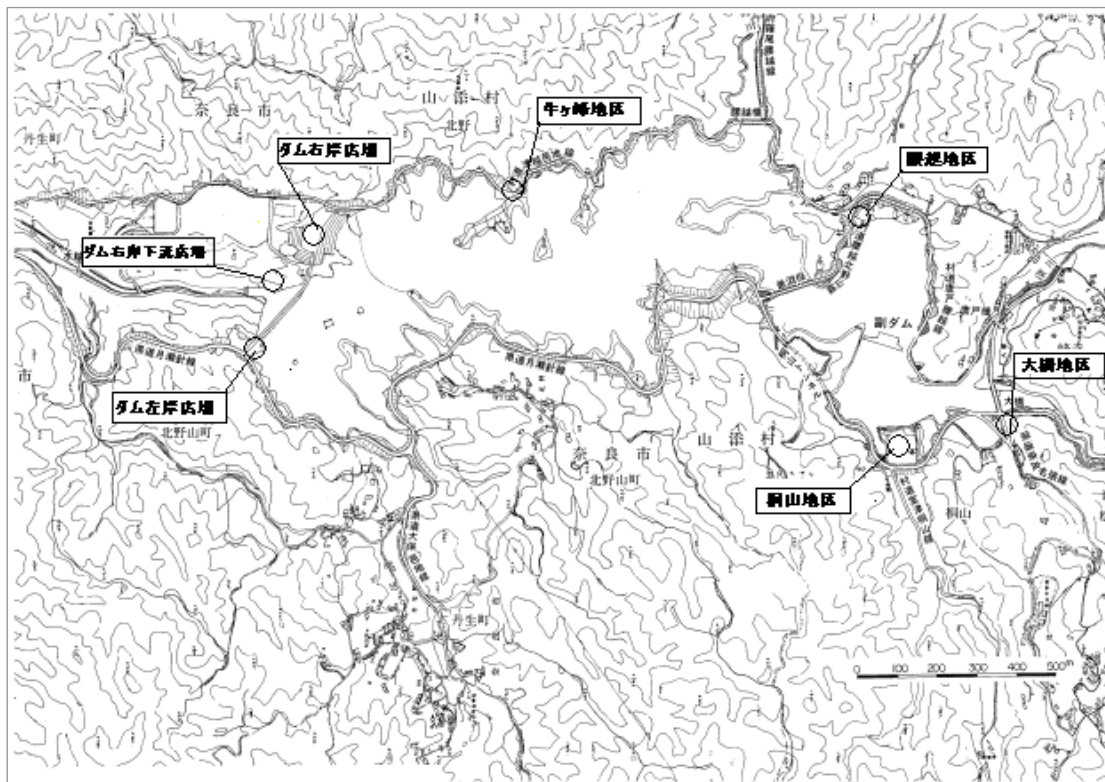


図 7.4.1-1 ダム周辺環境整備 位置図

表 7.4.1-1 ダム周辺環境整備内容

場所	面積	利用方法	環境整備の内容	管理主体
ダム左岸広場 (まほろば広場)	1,200m ²	ダムを訪れた人々への案内及び休憩 眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テ ーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、トイレ、 照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸広場 (まほろば広場)	10,000m ²	ダムを訪れた人々への案内及び休憩 眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テ ーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、トイレ、 照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸下流広 場 (まほろば広場)	1,500m ²	ダムを訪れた人々のダムサイト展望、 休憩眺望スペース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、ベンチ、 テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、案内 施設	機構
牛ヶ峰地区 (コスモス公園)	16,000m ²	貯水池展望のできる休憩、散策スペ ース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、ベンチ、 テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、トイレ	山添村
腰越地区 (ふれあい広場)	4,100m ²	地元住民の憩いの場	ゲートボール場、駐車場、パーゴラ、シェル ター、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰 皿、植栽	山添村
大橋地区 (ほのぼの公園)	4,300m ²	上流端河川合流地点にある交通の要 所、川辺におりての休憩、親水スペース	親水護岸、駐車場、ベンチ、植栽	山添村
桐山地区 (さざなみ広場)	7,400m ²	副ダムによって形成された湖面に沿っ た親水スペース、地元山添村等により 構成される第三セクターがキャンプ等の 収益事業を実施、上盤の農村広場との 複合利用	親水護岸、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テー ブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、トイレ	山添村 第三セク ター



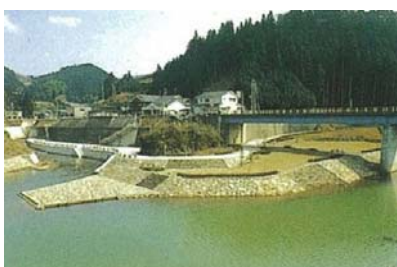
ダムまほろば広場



牛ヶ峰コスモス公園



腰越ふれあい広場



大橋ほのぼの公園



桐山さざなみ広場

写真 7.4.1-1 ダム周辺環境整備の状況

(2) 副ダム周辺環境整備

副ダムは貯砂ダムにゲートを設置し水位を一定に保ち、ダム湖の親水性の向上、ダム湖の水質保全、湖辺の景観保全、湖面利用等による水源地域の活性化等を図ることを目的として建設したものである。

なお、副ダム上流には建設発生土置場の広場があり、貯水池内環境整備の一環として親水性護岸工事で基盤整備工事を施工したほか、貯水池末端の大橋地区の広場についても環境整備の一環として親水護岸及び駐車場等を施工し、湖辺の景観保全、湖面の利活用に供することとした。



副ダム 緒元	
形 式	重力式コンクリート
堤 高	14.5m
堤 頂 長	133.3m
堤 体 積	13,100m ³

目 的

容量保全 : ダム貯水池への流入土砂の軽減をはかることにより堆砂防止、貯水池への濁質軽減を行う。

水質保全 : 流入汚濁物の沈殿除去による水質浄化を図る。

親水機能 : 水位が一定な水辺を作ることにより水とふれあうレクリエーション空間を創る。

写真 7.4.1-2 布目ダム上流部に設置されている副ダム



写真 7.4.1-3 副ダムでの湖面利用状況

(3) 磨崖仏移設工事

布目ダムの湛水により水没する地域には石仏、供養塔、遺跡等の各種文化財が数多く存在しており、その保存が強く望まれていた。

布目ダムの実施にあたっては、そうした要望に対し可能な限り移転保全に努めることとし、補償の一環として山添村等を通じてその移設工事を実施した。中でも桐山地区の河床付近にあった特に大型の「烏ヶ淵阿弥陀地蔵二尊仏」、「烏ヶ淵地蔵磨崖仏」については、同地区の付替県道湖側に広場を造成し移設したものである。移設工事は平成2年3月から平成2年6月末の約4ヶ月間で実施した。

表 7.4.1-2 ダム周辺に移った石仏

名称	作製時代
大橋阿弥陀磨崖仏	南北朝時代(1355)
大橋首切り地蔵(立像)	江戸時代
地蔵立像	天正元年(1573)
十九夜観音石仏	江戸時代
烏ヶ淵地蔵磨崖仏	室町時代
烏ヶ淵阿弥陀地蔵2尊磨崖仏	室町時代
牛ヶ峰新橋地蔵石仏	安永4年(1775)
牛ヶ峰六地蔵磨崖仏	室町時代
竹の倉地蔵磨崖仏	江戸時代



図 7.4.1-2 布目ダム周辺磨崖仏・石仏位置図

7.4.2 ダム周辺施設の利用状況

布目ダムは釣り利用が多く、「布目湖釣り大会」も行われている。

ここでは、釣りの年間利用者数を表7.4.2-1に整理した。

ダム管理開始後の平成4年度から釣りの利用者は増加し、平成8年度に「ほんなら釣り大会」を開催した年度には、14,700人も利用があった。その後、利用者は減少したが、平成14年度にわかさぎ漁業が追加されたことに伴い、また増加を始め、平成18年度には15,000人の利用があった。

表 7.4.2-1 各年度における釣り人数

年度	延べ人数(人)	備考
平成4年度	2,900	
平成5年度	6,200	
平成6年度	5,400	
平成7年度	7,100	
平成8年度	14,600	本年より、ほんなら釣り大会開催
平成9年度	13,000	
平成10年度	12,300	
平成11年度	11,100	
平成12年度	11,900	
平成13年度	9,500	
平成14年度	9,800	わかさぎ漁業の追加
平成15年度	8,200	
平成16年度	13,000	
平成17年度	15,200	
平成18年度	15,000	

※人数の算出方法： 年券(10人/枚)、日券(1人/券)

(データ提供：布目川漁業組合)



写真 7.4.2-1 釣り利用者への情報提供
(左：遊魚者への告知、右：魚つり禁止区域)

7.4.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

布目ダム周辺では、ダムやダム湖、湖周道路等を活用して様々なイベントが開催されている。以下にその開催概要を整理した。

(1) 平成14年度の概況

貯水池にはコイやフナが育成し、釣り客が多数訪れた。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用され、ダム広場にも多数の観光客が訪れた。

貯水池周辺では、ツアーオブ JAPAN、布目湖釣り大会、マラソン大会等のイベントが開催された。

その他、各地域が主体となって、以下のイベント等を実施した。

(山添村)：

- ・5月26日に自然歴史探訪ハイキングを実施した。参加者は大阪、神戸などからもあり、参加者数は約430名程度であった。
- ・いも掘り大会の実施。

(都祁村)：

- ・8月1～10日の間で布目川の清掃を実施。
- ・9月14日に水生植物の観察会を実施。29名の小学生が参加。

(布目ダム)：

- ・7月27日に布目ダムの一般公開を実施。山添村の多数の方が参加。

(ツアー・オブ・ジャパンの風景)



(布目ダムマラソンの風景)



(2) 平成 15 年度の概況

貯水池にはコイやフナが育成し、釣り客が多数訪れた。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用され、ダム広場にも多数の観光客が訪れた。

貯水池周辺では、布目湖釣り大会、マラソン大会等のイベントが開催された(表 7.4.3-1)。

表 7.4.3-1 布目ダム周辺で実施されたイベント

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	他機関の参加状況	参加人数	行事内容等
6月22日 11月15日 13時30分 5 15時00分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	布目ダム地域開発協会、山添村地域住民 計78名	85名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアーを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
8月2日 14時~17時 8月3日 9時~16時	大和川・淀川流域連携水環境交流会2003 布目ダム説明ホール ダム周辺石仏群	奈良県文化会館 布目ダム桐山さざなみ広場	大和川・淀川流域連携水環境実行委員会 摂南大学工学部 都市環境システム (澤井教授)	奈良市山添村役場 奈良県大坂府 琵琶湖・淀川水質保全機構 大阪市NPO法人 京都府庁 他 計133名	170名	水辺の保全と活用を通じて、流域内あるいは流域間の連携を深め活性化を図ることとして、近畿では平成11年より毎年、淀川流域内で場所を変えながら、シンポジウム、湖面利用したEボートを上下流の人々や関係機関に働きかけ開催し、水環境への意識や改善、連携を目的に行われている。今年度、布目ダムが開催場所となった。
9月14日 6時00分 5 14時30分	布目湖釣り大会	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	布目川漁業組合 一般住民他 計600名	約600名	釣り許可区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流の開催。
11月15日 13時30分 5 17時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	布目ダム地域開発協会 山添村地域住民 計79名	約81名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアーを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
11月22日 13時30分 5 17時40分	全国いわくらサミット	ふるさとセンター「ふれあいホール」	いわくらサミット実行委員会(申込み)山添村企画財政課	山添村地域住民 その他各府県民		オープニングセレモニー(布目太鼓、藤子哲子シンセサイザー演奏) フォーラム(基調講演「いわくらと神々の考古学」、パネルディスカッション「山添村の巨石遺蹟」)
12月14日 8時30分 5 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目ダム天端道路及び布目湖畔道路	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	なし		平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていたくとも、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会。参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。



(大和川・淀川流域連携水環境交流会 2003・E ボート) (8月2～3日)



(釣り利用の状況) (8月)

(3) 平成16年度の概況

貯水池にはコイやフナが育成し、釣り客が多数訪れた。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用され、ダム広場にも多数の観光客が訪れた。

貯水池周辺では、布目湖釣り大会、マラソン大会等のイベントが開催された(表7.4.3-2)。

表 7.4.3-2 布目ダム周辺で実施されたイベント

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
5月23日 8時00分 ～ 12時30分	第13回布目湖畔サイクルフェスタ2004	奈良市・山添村布目湖	(財)日本サイクリング協会	190名	布目ダム湖周辺をツアーオブジャパンコース・大和高原コースクロスカントリーコース・ファミリーコース・とコース別にサイクリングし、自然に親しみ、心身を健康にする目的で実施された。
5月24日 9時00分 ～ 13時30分	ツアーオブジャパン	奈良市・山添村布目湖	自転車月間推進協議会	96名	海外チーム8チーム・国内チーム8チーム1チーム選手6名で競技する。アジア最高峰の自転車レース。
6月20日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	山添村布目ダム湖周辺	布目ダム周辺地域開発協会	山添村など約100名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月25～31日 10時00分 ～ 12時00分	「森と湖に親しむ旬間」水源見学ツアー	奈良市布目ダム	水資源機構 木津川ダム総合管理所	321名	ダムの役割と大切さを知って頂くため・説明ホールで布目ダムの役割ビデオ上映・堤体内見学案内・催し物及び記念品配布(金魚すくい・クイズ・記念植樹)
8月14日 19時30分 ～ 21時30分	東山夏まつり	山添村多目的広場(桐山)	東山夏まつり実行委員会		盆踊り・打ち上げ花火大会
9月12日 6時00分 ～ 14時00分	第25回ほんなら釣り祭布目湖釣り大会	山添村布目ダム湖周辺	布目湖釣り大会実行委員会	400名	釣り許可区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流の開催。
11月13日 9時00分 ～ 15時00分	山添むらまつり2004「なんでも市」	山添村山添村ふるさとセンター	山添村祭り実行委員会	山添村など約5000名	ふるさとの味や、各種農産物、展示品など多数手作りを中心として出展され近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性を目的とする。 布目ダムとしてダムの紹介をビデオ、展示物で案内、リサイクル品、パンフレット、洪水調節資料配付する。
11月21日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	山添村布目ダム湖周辺	布目ダム周辺地域開発協会	山添村など約100名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月12日 9時00分 ～ 14時00分	第14回やまぞえ布目ダムマラソン大会	奈良市・山添村布目ダム周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	山添村など約830名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会。参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。



(第13回布目湖畔サイクルフェスタ 2004)



(ツアーオブジャパン)



(森と湖に親しむ旬間)



大橋公園でニジマスゲット



家族でのんびり



休憩中(大橋布目川)



審査会場(フナの大きさを計測)



所長挨拶



部門別で優勝した皆さん

(布目湖釣り大会)



(山添むらまつり 2004「なんでも市」)



(クリーンキャンペーン)(11月21日)



(第14回やまぞえ布目ダムマラソン大会)

(4) 平成17年度の概況

貯水池にはコイやフナが育成し、釣り客が多数訪れた。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用され、ダム広場にも多数の観光客が訪れた。

貯水池周辺では、布目湖釣り大会、マラソン大会等のイベントが開催された(表7.4.3-3)。

表 7.4.3-3 布目ダム周辺で実施されたイベント

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
5月15日 8時30分 ～ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	約190名	家族が友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験してもらうことを目的に実施されている。
5月16日 9時00分 ～ 13時30分	第9回ツアー・オブジャパーン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手96名	
6月26日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	110名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月30日 10時00分 ～ 12時00分	布目ダム水源の見学ツアー「森と湖に親しむ旬間」	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	81名	上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでもらうため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を行った。
9月3日 19時30分 ～ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約51名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深める。
9月4日 6時00分 ～ 14時30分	布目湖釣り大会	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W japan	約400名	釣り許可区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流の開催。
11月3日 7時00分 ～ 16時30分	山添むらまつり2005「なんでも市」	ふるさとセンター	山添村企画財政課	約5000名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの人が訪れ山添村の「ふるさと」を知ってもらい、地域の活性化を目的に実施されている。布目ダムの役割、リサイクル品、催しを行い、布目ダムの紹介を行った。
11月19日 13時30分 ～ 16時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約81名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月11日 8時30分 ～ 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目ダム天端道路及び布目湖畔道路	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約229名 選手850名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会。参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。



(ツアーオブジャパン)



(森と湖に親しむ旬間)



(布目湖釣り大会)



(布目ダムマラソン大会)

(5) 平成18年度の概況

貯水池にはコイやフナが育成し、釣り客が多数訪れた。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用され、ダム広場にも多数の観光客が訪れた。

貯水池周辺では、布目湖釣り大会、マラソン大会等のイベントが開催された(表7.4.3-4)。

表 7.4.3-4 布目ダム周辺のイベント等の開催状況

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	人数	概要
	社会見学 (布目ダム施設見学)	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	1934	社会見学として布目ダムの施設見学
5月14日 8時30分 ～ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	約190名	家族が友達連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。
5月15日 9時00分 ～ 13時30分	第10回ツアー・オブジャパーン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手96名	
6月24日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	110名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月29日 10時00分 ～ 15時30分	布目ダム水源地見学ツアー「森と湖に親しむ旬間」	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	81名	平成15年10月より新たに発足した独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所は、独立行政法人として第1回目の新たな試みと捕らえ、また「森湖」の原点に帰り更なる上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を行った。
9月3日 19時30分 ～ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約51名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深める。
9月3日 6時00分 ～ 14時30分	布目湖釣り大会	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	約400名	釣り許可区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流の開催。
11月3日 7時00分 ～ 16時30分	山添むらまつり2005「なんでも市」	ふるさとセンター	山添村企画財政課	約5000名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの人が訪れ山添村の「ふるさと」を知ってもらい、地域の活性を目的に実施されている。布目ダムの役割、リサイクル品、催しを行い、布目ダムの紹介を行った。
11月19日 13時30分 ～ 16時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約81名	年2回ダム湖周辺の住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行い、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月10日 8時30分 ～ 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目ダム天端道路及び布目湖畔道路	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約229名 選手850名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会。参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。



第10回ツアー・オブジャパン



布目ダム周辺クリーンキャンペーン



布目湖釣大会



やまぞえまつり



布目ダム水源地見学ツアー

■施設見学(小学生への施設案内の様子)



説明ホールでの説明模様



スナップ写真をCDに収録して記念に渡している

(出典；布目ダム管理所、布目ダムの概要ppt)

7.5 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

(1) ダム湖利用実態調査

ダム湖利用実態調査とは、ダム湖周辺整備計画等の検討の際の基礎データとして資することを目的に、河川水辺の国勢調査の一環として平成3年度から3年毎に実施されているダム湖及び周辺地域における利用状況に係る調査である。なお、布目ダムでは平成4年度の管理開始以降、平成6年度より「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」を実施している。

調査結果によると、調査開始時の平成6年度の年間利用者数の推計値は約9万人であり、平成18年度は約11万人となっている。平成9年度からの傾向では、ほぼ安定した利用者数がある。

年間利用者数の推移(千人)

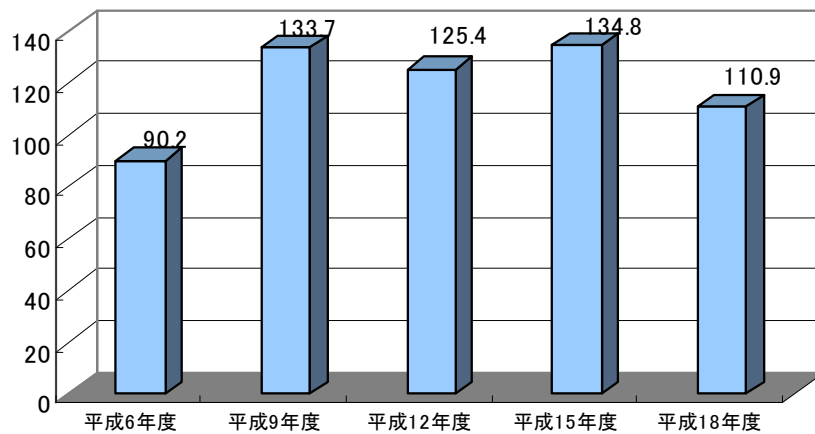
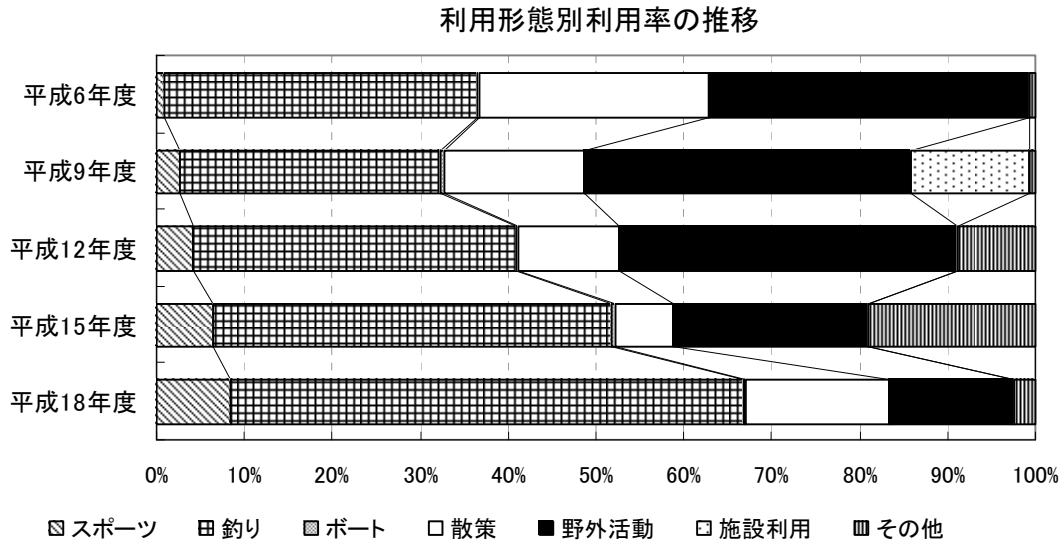


図 7.5-1 1年間のダム湖利用状況(推計値)

(出典:平成15年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉、平成15年11月、国土交通省河川局河川環境課、および平成18年度 河川水辺の国勢調査結果〔速報値〕)

主な利用形態は「釣り」「散策」「野外活動」である。平成6年から平成18年までの傾向を見ると、「釣り」利用の割合が22.6%、「スポーツ」が7.6%の伸びを示している。一方で、「散策」「野外活動」の利用者数は年毎に増減がしており、平成18年度は平成6年度より「散策」が9.8%、「野外活動」が22.5%の減少となっている。



ダム湖及び周辺の利用状況

年度	総数	利用形態区分							利用場所別		
		スポーツ	釣り	ボート	散策	野外活動	施設利用	その他	湖面	湖畔	ダム
平成6年度	90.2	0.7 0.8%	32.3 35.8%	0.2 0.2%	23.5 26.1%	33 36.6%	0 0.0%	0.5 0.6%	31.3 34.7%	39.1 43.3%	19.8 22.0%
平成9年度	133.7	3.4 2.5%	39.9 29.8%	0.3 0.2%	21.3 15.9%	49.8 37.2%	17.9 13.4%	1 0.7%	39.3 29.4%	37 27.7%	57.3 42.9%
平成12年度	125.4	5.3 4.2%	46 36.7%	0.4 0.3%	14.2 11.3%	48.3 38.5%	0 0.0%	11.2 8.9%	49 39.1%	39.8 31.7%	36.6 29.2%
平成15年度	134.8	8.7 6.5%	61 45.3%	0.6 0.4%	9 6.7%	29.9 22.2%	0 0.0%	25.5 18.9%	63.3 47.0%	31.7 23.5%	39.9 29.6%
平成18年度	110.9	9.3 8.4%	64.8 58.4%	0.4 0.3%	18.1 16.3%	15.6 14.1%	0.2 0.1%	2.6 2.4%	64.6 58.3%	28.8 26.0%	17.5 15.8%

(単位:千人)

図 7.5-2 1年間のダム湖の利用形態・場所別 利用者数(推定値)

(出典:平成15年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕〈ダム湖利用実態調査編〉、平成15年11月、国土交通省河川局河川環境課、および平成18年度 河川水辺の国勢調査結果〔速報値〕※1)

(2) 利用者の満足度

「ダム湖利用実態調査」では来訪者に対してアンケートを行い、ダム湖を利用した感想について5段階による回答を求めている。

1. 満足している 2. まあ満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満である 5. 不満である

以下に、上記アンケート結果による布目ダムの利用者の満足度を整理する。

表 7.5-1 アンケート調査結果

	1. 満足	2. まあ満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5. 不満	有効回答数
平成9年度	41 (40.6%)	38 (37.6%)	4 (4.0%)	8 (7.9%)	3 (3.0%)	94 (93.1%)
平成12年度	56 (43.1%)	42 (32.3%)	10 (7.7%)	7 (5.4%)	5 (3.8%)	120 (92.3%)
平成15年度	37 (35.9%)	52 (50.5%)	13 (12.6%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	103 (100%)
平成18年度	63 (57.8%)	30 (27.5%)	10 (9.2%)	5 (4.6%)	1 (0.9%)	109 (100%)

(出典:各年度 ダム湖利用実態調査結果)

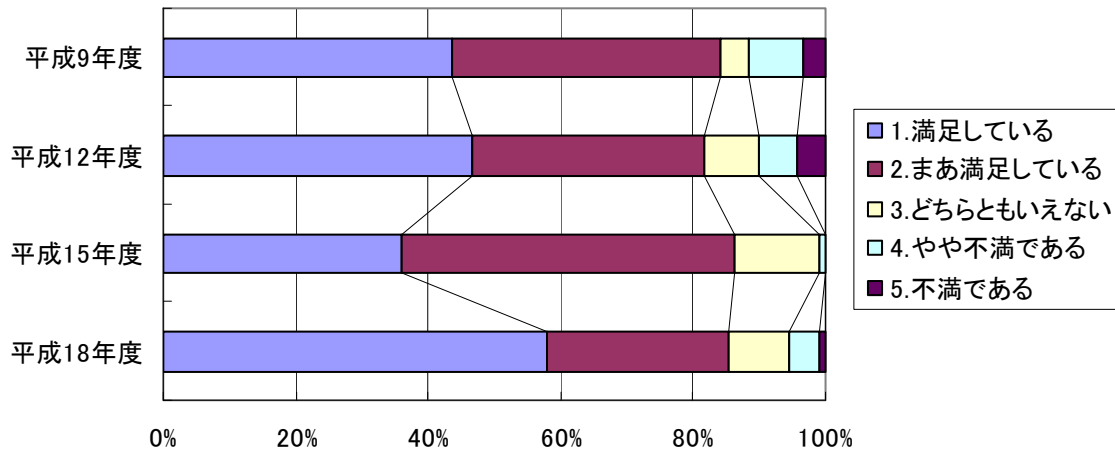


図 7.5-3 アンケート調査結果

7.6 その他関連事項の整理

(1) 文化財等

布目ダム水源地域周辺には、国指定をうけている名勝月ヶ瀬梅林(旧月ヶ瀬村)をはじめ、国指定(重文)天神社本殿(山添村)や、県指定の石打城址(旧月ヶ瀬村)等、多くの文化財がある。

表 7.6-1 布目ダム流域内文化財一覧

市町村名	区分	指定種別	名 称
山添村	国	建造物	天神社本殿
		彫刻	銅造菩薩半跏像(伝如意輪観音像)
	県	彫刻	能面
		無形民俗文化財	東山の神事芸能
		名勝・天然記念物	神野山
		天然記念物	神野寺境内の二次林
奈良市	国	建造物	丹生神社本殿
	県	彫刻	能面
		有形民俗文化財	丹生神社題目立詞章残闕(「厳島」)
旧都祁村	国	建造物	都祁水分神社本殿
		建造物	来迎寺宝塔
		彫刻	木造善導大師坐像
		彫刻	木造菩薩立像(伝聖観音像)
		無形民俗文化財	題目立
		史跡	小治田安萬呂墓
	県	彫刻	木造阿弥陀如来坐像
		絵画	絹本著色法華曼荼羅図
		工芸品	金銅装神輿
		考古資料	古鏡
		史跡	三陵墓古墳群

(出典:平成17年度 木津川ダム流域情報調査報告書)

(2) 社会見学（布目ダム施設見学）

布目ダムでは、社会見学の一環として布目ダムの施設見学を開催しており平成18年度は1,926人が参加した。以下に、見学会を行った際に使用した資料および参加者へのアンケート様式・回答結果を整理した。

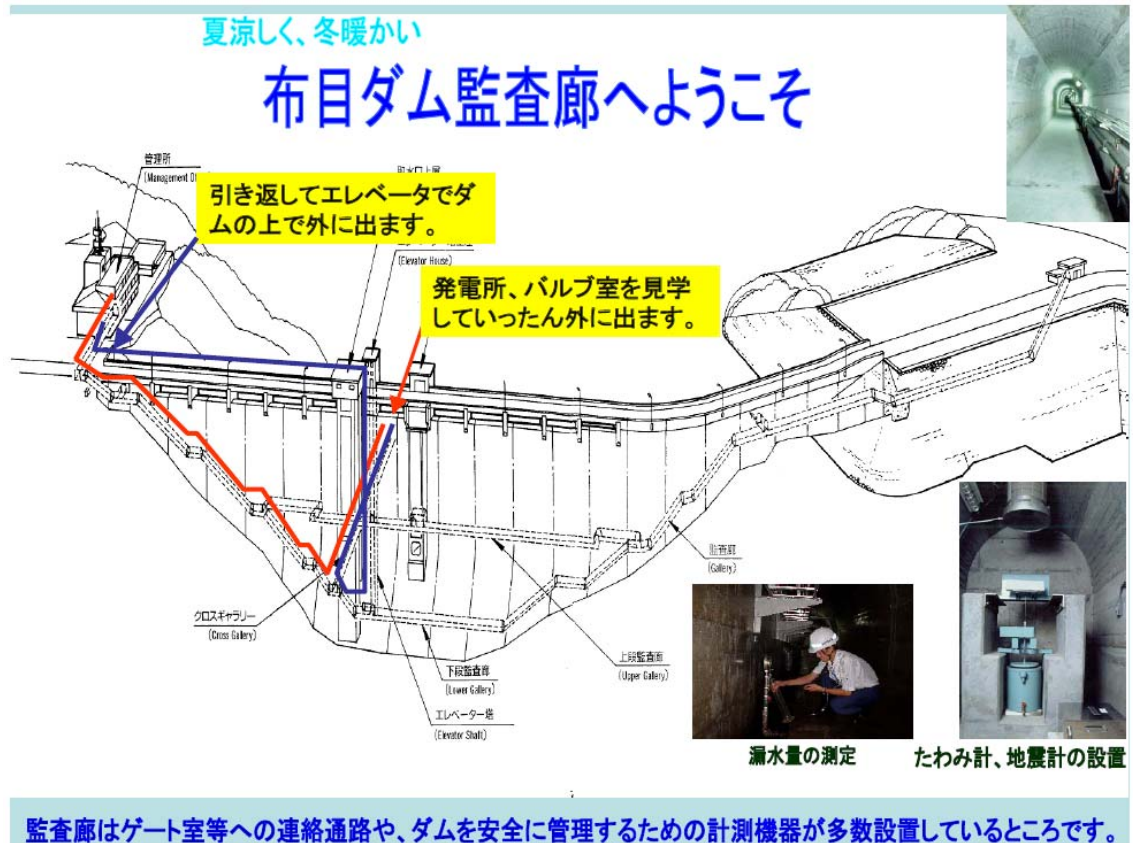


図 7.6.1 社会見学時に使用した資料

☆布目ダム「しせつ見学」 参加アンケート

このたびは「しせつ見学」に来ていただきありがとうございました。

せつめいはいよう さんこう しつもん
 説明内容や、見学されたことについて参考としたいため次の質問に

きょうりょく
 ご協力をお願いします。

かこ きにゅう
 (あてはまるものを○で囲むか記入して下さい。)

1. 学校名 小学校
2. 小学 1・2・3・4・5・6 年生 (男・女)
3. どちらから (..... 都・道・府・県 市・町・村)
4. 施設見学について

けんがくじかん
 (1) 見学時間について
 [1.ながい 2.ふつう(適当) 3.みじかい]

やくわり
 (2) ダムの役割について
 内容が (りかいできた だいたいりかいした りかいできない)
 りかいできないひとにききます。どんなことがわかりにくいですか ?

.....

しつもん か
 (3) ダムについて質問があれば書いてください。

5. ダムを見学してどう思いましたか

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

図 7.6.2 アンケート調査票 (小学生向け)

小学校布目ダム施設見学会 (山添村立北野小学校児童)

見学月日	アンケート回収人数	男性	女性	性別不明
平成18年 10月3日	見学者7人 アンケート回収6人	3年生 3人	3年生 3人	0人

★山添村立北野小学校 布目ダム「施設見学」参加アンケート

施設見学時間について

長い 0人 普通 3人 短い 3人 無回答0人

ダムの役割について

理解できた 4人 だいたい理解できた 2人 理解できない 0人 無回答 0人

ダムについて、質問があれば書いてください。

- ・ダムはどんな理由で作られたのですか？
- ・布目ダムの出口はなんこありますか？
- ・600おく円のお金、なんでそんなにかかったのか。

布目ダムを見学してどう思いましたか。

- ・とってもよく分かったので学習発表会もせいこうできる。
- ・布目ダムはすごかった。
- ・ダムのことをいろいろしっておもしろかった。
- ・二度も行ってつかれたけどとてもたのしかった。
- ・だいぶつさんが5こもかさなっているんだなと思いました。72メートルある。

図 7.6.3 アンケート結果 (山添村立北野小学校児童) (参考)

布目ダム施設見学会 山添村立北野小学校

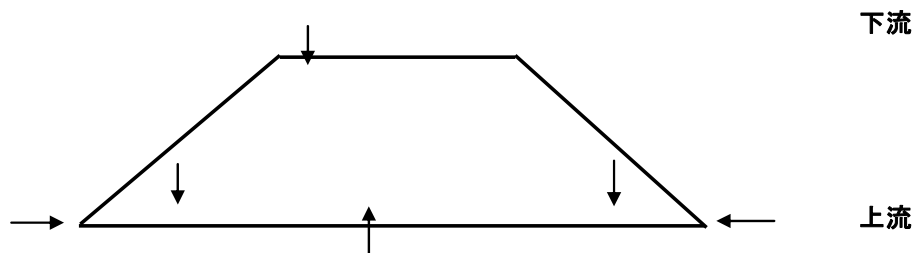
ダムについて、質問があれば書いてください。

・ダムはどんな理由で作られたのですか？

奈良市の水道用水を供給するため、又、布目川の洪水調節のために造られました。

・布目ダムの出口はなんこありますか？

布目ダムの中への出入り口は全部で6ヶ所あります。



・600おく円のお金、なんでそんなにかかったのか。

ダムを造る場所、水を貯める範囲の土地の買収費、道路を造る費用、公園/管理所を造る費用、ダムのゲート・バルブを造る費用、サイレン・スピーカを造る費用、働いている人達の給料など全部を含んだお金です。

図 7.6.4 アンケートの質問に対する回答（山添村立北野小学校児童）（参考）

7.7 まとめ（案）

- 布目ダム周辺には、いずみ路、伊賀上野、信楽の里や柳生の里などの観光資源が分布している。
- ダム周辺において、「布目湖釣り大会」、「ツアー・オブジャパン」等のイベントが開催されるなど、地域活性化に向けた取り組みも盛んである。
- 布目ダム周辺への訪問者数は、平成12年度は約12.5万人、平成15年度は約13.5万人、平成18年度は約11.1万人とほぼ安定している。

<今後の方針>

ダム管理者として、ダム周辺施設を活かした活動、イベント等への参加等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンにおいて策定された方策を今後も引き続き、関係自治体・地元・NPOなどと共に推進していく。

7.8 文献リストの作成

布目ダムの水源地域動態に係わる事後評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.9-1 7. 水源地域動態に使用した資料リスト

該当箇所		文献・資料名	発行者	発行年月日
7.1 水源地域の概況				
7.1.1 水源地域の概要	(1) 水源地域の人口の推移	国勢調査		
	(2) 土地利用と産業	山添村 HP (地勢・概要)	山添村	-
		水源地域センサス	国土交通省河川局 河川環境課 流水管理室	第1~5回
7.1.2 ダムの立地特性	(2) ダム周辺の観光施設等	平成14年度全国観光動向		
		山添村 HP	山添村	-
		笠置町商工会 HP	笠置町商工会	-
		道の駅針テラス HP	針テラス	-
7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷				
		奈良市 HP	奈良市	-
		都祁村勢要覧	都祁村	平成5年
		山添村村勢要覧	山添村	平成8年
7.3 地域とダム管理者の関わり				
7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理		布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域ビジョン策定会議	平成14年3月
7.3.2 地域とダム管理者の関わり	(1) 布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域ビジョン策定会議	平成14年3月
7.5 河川水辺の国勢調査結果				
		平成15年度河川水辺の国勢調査結果(ダム湖版)	国土交通省河川局 河川環境課	平成15年11月
		平成15年度ダム湖利用実態調査報告書	株式会社 アクアテルス	平成16年3月